

令和３年５月２６日

鶴田ダム管理所

## 「大鶴湖の水環境に係る関係者会議」について

～川内川流域の外来水草繁茂抑制対応方針について～

「大鶴湖の水環境に係る関係者会議」は、平成２５年６月から、大鶴湖の水環境改善を目的に、アオコ発生メカニズムの調査・検討や河川での水質改善の啓発活動等を実施してまいりました。

その後、大鶴湖で令和２年８月頃から外来種の水草が大規模に繁殖したため、鶴田ダム管理所において、回収船等による回収を実施し、４月末迄に概ね回収を終えました。

しかしながら、今年の梅雨期が例年より２０日程度早くなり、５月中旬からの出水により、上流域から少量の外来水草が流入したため、回収船による回収を実施中であり、６月末迄に全ての回収を終える予定です。その後も出水により水草が流入する可能性が高いことから、ダム湖巡視を継続し、発見次第、駆除を行って参ります。

また、川内川流域には外来水草が多数存在しており、外来水草の駆除は流域全体での課題です。

このため、「大鶴湖の水環境に係る関係者会議」の参加組織を拡充し、川内川流域の国・県・市町・住民等が連携し、外来水草の繁茂抑制にむけた対応や情報共有を進めて参ります。

※新たに参加する団体・学識者

- ・自治体：鹿児島県・宮崎県、湧水町、えびの市
- ・学識者：鹿児島大学 丸野先生、佐賀大学 古賀先生、大阪大学 玉泉先生

今後のスケジュール

「大鶴湖の水環境に係る関係者会議」：毎年５月、２月

技術検討 WG : 発生メカニズム検証、実験計画等 : １０月、１月

広報・啓発 WG : 広報資料作成、監視パトロール支援等 : １０月、１月

※実験計画：繁殖試験・埋土種子発芽試験、水質調査等

※今回作成した外来水草の繁殖メカニズムについては、全国の事例や鶴田ダムで繁殖した事例を基に作成しており、今後の繁殖試験等の結果を基に、ブラッシュアップを行っていきます。

最後に

「大鶴湖の水環境に係る関係者会議」の取組みを関係者で実践し、外来水草を川内川流域で撲滅することが、最終目的です。長期間の取組みになると予想されますが、関係者が一体となって取組みを進めて参ります。